

委員会の名称	
・あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動）	
委員会開催日及び場所	
・開催日 令和7年1月23日（木）	
・開催場所 市役所 2階 D会議室 15:00 から 16:30 まで	
参加者	
委員	鈴木 達見 至学館大学 教授 山本 周平 アスフィール(株) 野田 充彦 あま市 PTA 連絡協議会会長 石原 直明 あま市 PTA 連絡協議会副会長 山田 守孝 あま市 PTA 連絡協議会副会長 内藤 美千代 甚目寺小学校長 欠席 籠島 篤司 甚目寺中学校長 石黒 えりか 部活動顧問代表 欠席 前田 純子 部活動顧問代表 小杉 良輔 部活動顧問代表 宮崎 勇二 部活動顧問代表 谷口 裕也 部活動顧問代表 小関 勝 スポーツ課長 内山 伸也 生涯学習課長
事務局	伊藤 克仁 あま市教育委員会 教育長 司会・進行 鎌倉 崇志 あま市教育委員会 教育部長 加藤 鋭之 あま市教育委員会 指導主事 次長 水越 彰洋 あま市教育委員会 指導主事 主幹 杉藤 真康 あま市教育委員会 学校教育課長 林 孝之 あま市教育委員会 学校教育課 主幹 家田 幸治 あま市教育委員会 学校教育課 課長補佐 小鹿 篤史 あま市教育委員会 教育総務課長 野々目 清司 あま市教育委員会 教育総務課 課長補佐 書記
傍聴人	なし

会議録

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・定刻となりましたので、只今から「あま市小中学校あり方課題別検討委員会（部活動）」を開催します。 ・次第 ・【資料1】名簿 ・【資料2】休日部活動における地域連携について
-----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・【資料3】 地域移行・地域連携の様々なパターン ・【資料4】 休日部活動の地域連携における検討事項 ・アスフィール 「活動アプリ／クラブマネージャー」 ・鈴木達見氏 「オールおおぶで進める部活動地域移行」 ・要綱 ・基本の方針
教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校あり方課題別検討委員会要綱第6条により、教育長が本委員会の議長となり、議事の進行を教育長にお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・あま市小中学校あり方課題別検討委員会次第に沿って進行していく。 ・次第の1、委員の紹介について、資料1委員名簿にて紹介。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月19日付、本市教育委員会は、あま市立小中学校のあり方に関する基本方針の決定にそって進めています。 ・本委員会は、あま市立小中学校のあり方に関する基本方針中、(3)及び(5)により部活動をテーマに本日の資料としている。 ・本委員会では、あま市教育委員会及び市立小中学校において、休日部活動における課題事項及び対策等のご意見をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2、資料3を説明。
至学館大学の鈴木達見氏	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 「オールおおぶで進める部活動地域移行」を説明
アスフィール(株)の山本周平氏	<ul style="list-style-type: none"> ・県の部活アプリ・運営状況「こららの部活動現場を支える部活アプリ／クラブマネージャー」を説明
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4、部活動における地域連携の課題事項を説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を含めて、今後は市が休日の部活動の地域連携を進めていく上で、委員が今感じていること、課題のこと、課題に対する解決策などの視点からでも意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者や生徒負担について ・多くの生徒が意欲的に参加希望することが考えられるので、アクセスしやすい活動場所を考えて欲しい。 ・選択する種目によっては、保護者の送迎が必要になり、共働きなどの家庭も多いことから、公共交通機関で利用できる会場を考えて欲しい。 ・必要経費を賄うためには、保護者負担をお願いせざるを得ないと思うが、できるだけ少額で抑えて欲しい。 ●部活動指導員の確保について ・継続した指導をしてもらうには、遠方からの派遣は避けたい。できるだけ、近隣在住の指導者を確保するためにも、部活動の地域移行が検討されていることを学校現場だけでなく、地域に情報提供していくと連携しやすいのではないと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者及び生徒負担について ・休日の部活にお金がかかる場合、休日の部活を希望しない生徒が出てくる。その場合は、大会に参加することはできないのか。 ●部活動指導員の確保について

	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が見つからなかったら部活がなくなってしまうのか、また教員が行っていくのか。 ・休日の指導をしたい教員がいる場合は、どのように対応していくのか。 ●その他について ・休日部活動における生徒指導について、その部分では、休日の部活等で教員がいないときに、生徒同士がトラブルを起こした場合、部活動指導員や保護者に解決をゆだねて教員は関与しないのか。 ・休日であっても、教員が関与し、学校で生徒指導を行うのか。 ・部活動指導員と顧問の連携について、平日と休日で指導者が変わる場合、練習内容などの連携ができていないと生徒が困惑する。また、顧問と部活動指導員で指導方針を統一する必要があるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校として生徒の数も少ない。実際には、部活動に参加したい思いはあるが人数が少なくなって休廃部もある。 ・他校と連携してできると小規模校としては、とてもありがたい。例えば、少ないもの同士が1つの合同部活として、チームで出場できるが、小規模校では4人しかいなくて他校では、18人ぐらいになると合同部活動として参加できない。 ・他校と比べて、小規模のため感じる課題が違う。 ・中高の連携にて、美和高校とも交流が始まると思うが、そちらの活動も連携するようなシステムができないということも心配だ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美和高校との交流については、そこまで進んでいない。今後、部活動の制度において、大きい学校と少数校だと規定の人数により実状がある。中小学校体育連盟へ進めていくことをお願いするしかない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度、柔道部ということで、何も柔道のことがわからない中で、地域連携していただけるってことは非常にありがたい。 ・休日や夏休みの長期休みについて、結構、負担であるため、地域連携はありがたい。 ・今の部員の様子を見ていると、お金を払って教えてもらいたいと思う生徒が、どれだけいるか正直感じる。自分としては、専門的な方に指導してもらうことはありがたい。 ・自分が以前、部活動をやっていたときと比較すると、今の子供たちは違って、特に今の柔道の雰囲気は、和気あいあいというようなイメージ。そこまで部活動に取り組んでくれるかなっていう不安な部分も正直ある。 ・サッカー、バスケット、ハンドボールであったり連盟の大会を含めると、土日などかなりの数があるので、指導者がついたりすると、その前の組み合わせや大会の打ち合わせが、平日の夜とかに行われていて、監督者会議が大変である。そのあたりの連携が不安である。 ・生徒指導面が不安なところは、土日の教員がいない中で、何かあったときっていうのは非常に不安。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、進めていくのは土日の休日部活動である。平日については、多分、先生方も勤務時間内でやっていただいていると思うので、平日や長期休みについては、学校側と改めて連携していきたい。 ・連盟の大会についても、学校長が判断して参加するかどうか決めていく。教育委員会が、何に参加しなさいとかはないので、事前に校長と教育委員会と

	<p>連携をとって進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導面については、心配なこともある。これは、学校の先生方との指導者の連携をとっていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度、柔道部のところで、現在の柔道部の顧問と話をして、今、入っている2年生、3年生、或いは1年生、2年生が進級した際に、月1,000円を支払っていくっていう形になっていくと思うが、部活動に所属するというタイミングで説明をしていない中で難しいと思う。 ・結局、話をすると土日は、行かないという家庭もあるのかなと思う。次年度に入ってくる生徒に関しては、説明がしやすいので、それを考慮した上で部活動を選んでいくってことができるかなと思う。 ・休日、大会等があるので、審判や練習試合の申し込みや教員で繋がってることが多い状況がある。そこの信頼関係を最初から作っていくってところに難しさを感じたりする。 ・生徒と教員の関係性だから上手くやれている部分がある。生徒と部活動指導員でそこまでの関係性が気付けるか不安である。 ・土日で起こったときに、必ず、次の週の平日で何か起こることが考えられる。そこの対応を顧問と連携し、時間が短いという中で解決方法を見いだしていくっていうところに、少し難しさを感じる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・月々の負担について、今後、柔道部について、保護者に対して説明会を実施していこうと考えている。その際に、理解していただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり、4月から指導するとか、もしかすると、最初のうちは、例えば先生と一緒にやっていくとか、4月や5月とかやり方もあるかもわからないが、その辺りも校長先生とも相談して進めていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者同士の連携っていうのが難しくなると思う。いつも一緒にやっていたら、コミュニケーションが取れて、同じ方向に向かって指導しているかと思うが、平日は中学校、土日は地域で指導者が別々になると、同じゴールに向かってやっていくことが難しい。個人的には、そこが一番の課題と思う。 ・学校でやるなら勤務時間で、「土日の活動なし」とかって思い切る。勤務時間外とか、土日は地域とか、見守りの人に、任せて完全に分けて、連携できるとよい。一緒にやっても難しく、そこを考える必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・専門外の部活動の指導をおこなう教員がおり、教員にとってかなりの負担になっている。 ・連盟等の大会ですと、役員として、朝から夕方まで自分の部活動の生徒がいない状態でも、丸1日、負担感というのは多くの教員から出ている。 ・大会としては、中小体という体育連盟の大会や地区の大会など大会運営が負担である。 ・非常に大変だなっていうことで、実際、連盟を主催しているところに休みを取らせて欲しいという先生がいた。 ・土日については、指導員の方に入っていただくことは指導について、4月から入れるよう研修を行えば、配置できているのかどうかは、準備をしてからかなと思う。 ・顧問が、その研修を受けて、いろんなハラスメントの対策をやっているとそうではない。 ・施設管理についても課題。

	<ul style="list-style-type: none"> ・土日を実際に外部の方にお任せすると、練習計画を指導員の方が立ててやるが、事前に平日の間に学校でやっていた指導の連絡調整や顧問の先生は指導しなくてもよいが、土日の練習の状態を見ていないといけなくなる。それらの観察とか計画の状況もあるので、それをやめなくてはいけないと思う。 ・部活動顧問の先生方、保護者、子供、保護者、学校も、みんな同じ方向を目指していくっていうことで進めてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の確保でふさわしい基準が定められるのかをお聞きしたい。 ・自分の子供が剣道をやっていて、誰でも教えられるものではない。 ・今、部活に加えて、中学校で週2回やっている民間の研究会に入って活動しているが、研究会の先生方は、剣道連盟の所定の資格を持っていて、生徒指導に限らず、指導者としての資格をお持ちの方がやっていて、美和中学校の剣道部のOBも加わって教えている。例えば、剣道だったら教える資格が剣道っていうところで決められているが、他の部活については、誰でも教えられるかが疑問になり、指導員をいかに確保するかが課題。 ・民間クラブとの連携で、現在の中学校の部活動の顧問が、人事異動で剣道の経験のある方がいなくなり、剣道の経験のない顧問に見ていただいている状態である。 ・研究会の先生が、部活動に協力したいという申し出を学校にされたそうなんですけど、特段、何の反応もなく、今に至っている。 ・一方、生徒からは、大会とか、剣道でいうと単位取得っていうところに頑張っていきたいが、部活動では、なかなか難しいので剣友会に来て指導してもらっている。 ・情報発信について、連携っていう話題は、ここ何年も出てきているが、情報が伝わってこないというので、保護者向けも含めて、今、進んでいることを情報発信してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に柔道をモデル事業として実施していく。 ・部活動指導員というのは、今後、柔道に限らず確保が必要であることを課題として挙げさせてもらった。 ・確保していくには、アスフィールの部活アプリを活用していくことや、市独自の人材バンクを用いて、指導員をおこなってもよい方に登録していきながら、面接をしていき研修を実施して外部指導員に充てていきたいと考えている。 ・民間クラブとの連携は、部活動の1つのパターンを決めてからになるので先になると考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・資格とか、剣道の段というわかりやすい種目もあれば、そういうのがない種目もあるので、最後は面接をしながら、実績等も踏まえて決めていくということに今後なっていく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・移行に伴って、保護者の負担、費用面、送り迎えなど、特に遠いと保護者の負担が増えると感じる。 ・実際、私も子供2人おり、地域の少年サッカーやっているので、保護者がクラブチームではないので、かかわらないといけなような形をとっており、その辺り同じような形になるのかなというようなことは感じている。 ・家庭環境によって、子供たちの機会を損失というか、お金を払えない保護者もいるので、どこまで踏み込めるかとの問題はありますが、今のイメージでは、

	<p>どんどん差が開いていくことが懸念事項である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の顧問は、本当に大変そうだと常々感じる。参考書を買ってきて、指導方法とか、やったことない競技を勉強している話も聞いていたので、専門的な指導員の方に受けてもらったり、その指導方法のカリキュラムなどで勉強していると聞く。 アプリのクラブマネージャーのデバイスにアプリを入れて使用するかと思うが、子供たちが、スマホだったり、学校に持ち込んでやっているのかなっていうところはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> アプリの利用について、システム的にはどのデバイスでも使える。スマートフォンや学校のタブレットでも使え、パソコンのブラウザでも使える。 どのように使うかは、方針によって変わってくるが、結構多くの自治体では児童生徒に使わせず、保護者だけ使っているケースもある。 保護者として、学校の先生と指導者と管理者のやりとりに使うというケースもある。ただ、生徒も見れた方が便利という場合もあるので、同じアカウントを複数のデバイスでアクセスできるようになっているので、生徒も確認必要な場合は、学校の端末からログインしたり、ご自身で持っている方はログインできるというのは、結構柔軟な設定になっていて、すり合わせの段階で決めている。 人材バンクの中には、本当に様々なレベルの方がいて、大学生の意欲だけある方もいれば、すごく資格を持っている方、かなりのグラデーションで、いるので、面談をして決定する形になる。また、大会の運営のサポートだとか、サブ的な方であれば大学生の方でもいいと思うが、もし顧問的な主として指導する方であれば、実績も必要になると思うので、そういった方を面談しながら見極めていくというのが必要。 実績や距離も確認をしていくが、あまり遠い方は負担が多いので、最初から外すこともある。 最終的には、今は、教育委員会が面接をやっているが、将来的には、一般社団法人だとかNPO法人が、面接の方もやっていくと、そのような流れで進めていくかと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の負担、非常に熱心にやっていただいているが、基本、土日休みと言いつつも、遠方の球場まで視察するため、携わっている。 地域連携を進めていくことによって、先生の時間外の勤務が問題となり解消されることはよい。 専門的な分野ではない、先生も変わってしまうと影響が出ているっていうことは、外部指導員に携わっていただいた方が質の担保ができる。そういった意味で非常にいいことなのかなと思う。 土日ですと楽器を学校から運ぶことが大変で、搬入できる大型の車で行かなくてはいけない。 共働きの保護者が多く確実に土日休みって言えない中、それが対応できないと結局、参加したくてもできないことが親としては悩ましいと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 次第の7の方に進みますが、委員の皆様から何かありますか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 意見なし
議長	<ul style="list-style-type: none"> 以上をもちまして、あま市小中学校あり方課題別検討委員会を終了します。